

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年8月14日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年8月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【1/2号機排気筒解体作業用クレーンからの油漏れ対応における放射線防護装備の着用不備について】 1/2号機排気筒解体作業用クレーンからの油漏れの現場確認をする機動隊員が、G装備を装着した状態でYゾーンに入域していることを確認。 その後、汚染検査を実施し汚染なしを確認。 今後、是正処置を検討。 なお、「1/2号機排気筒解体作業用クレーンからの油漏れについて」の不適合については、8月13日のパフォーマンス向上会議で審議済み。	G II	8月8日
2	【人工地盤材料破砕材の協力企業作業員への接触について】 2/3号機間道路上に落ちていた人工地盤材料破砕材(直径約15cm球状)を10トンダンプトラックのタイヤで踏みつけ、跳ねた破砕材破片(10cm×10cm×2cm程度)が約5m離れた場所にいた協力企業作業員に接触。 協力企業作業員にけがは無し。	G III	8月8日
3	【5/6号機滞留水貯留設備のC7タンク水位計の不具合について】 5/6号機滞留水貯留設備のC7タンク水位の「入力不良」警報が発生し、指示値が3672mm→0mmとなった。 当該タンクはC1～C7の7基すべて連結されており、C1～C6タンク水位計の指示値の低下がないこと及びC7タンク周辺に漏えいがないことから、C7タンク水位計の故障と推定。 今後、当該水位計の点検・修理予定。	G III	8月9日
4	【構外焼却炉エリアでの油漏れについて】 構外焼却炉エリアにて協力企業作業員が、アスファルト上に油が溜まっていた痕跡(2m×1m程度)を発見。 直近に当該箇所付近に駐車していた車両から油が漏えいしたと推定。 消防により「油漏えい事故ではない」と判断。 油を分解する薬剤を散布後、デッキブラシにて洗浄済み。	G III	8月8日